

令和元年度春圃会財務関係監査報告

5月26日に春圃苑において、春圃会の令和元年度の各種事業の執行状況並びに収支決算状況の監査を実施したので、その結果を報告します

(事業の執行状況)

1. この年度の後半に世界各国に新型コロナウイルスが発生し、日本においても感染が拡大されたことで、緊急事態宣言が発せられました。春圃苑においては職員一丸となって感染防止に努め一部事業の変更中止、また、若干の利用者のキャンセルがありました。各事業とも年度当初に計画された通り概ね実施されておりました。この間の職員皆さん方のご労苦に改めて感謝するものです。なお、緊急事態宣言が解除されましたが、「第2波、第3波」の感染が心配されており、職員皆さん方には引き続き感染防止に努められるよう望みます。
2. 開設2年目となるしゅんぼえん保育所の利用者は、年度末で13名（職員の利用者7名、地域の利用者6名）が利用されました。特に、地域内には、3歳児未満の子どもを預かる施設がないなかで春圃会が保育所を開設されたことで利用者から安心して子どもをお願い就労が出来ると感謝され、地域に対して多大な貢献をされております。
3. 開設2年目の大谷デイサービスセンターの稼働率は49.2%であり、今後、せめて、小泉デイ、津谷デイ位の稼働率70%台に近付けられるよう引き続き積極的に利用者の獲得に取り込み経営の健全化並びに安定化に努められたい。

(財務会計関係)

1. 本部全体会計、福祉事業で小泉拠点の7事業会計、津谷拠点の2事業会計、大谷拠点の2事業会計、公益事業で小泉拠点の3事業会計、合わせて15事業会計の証書、帳簿、通帳を照合しましたところ、収入、支出の係数が、いずれも正しく示されており正確なものと認めました。
2. 貸借対照表についても、資産と負債の数値が正しく示されており、正確なものと認めました。

よって、令和元年度の春圃会の各種事業会計の決算は適正であると認めましたので報告します。

令和2年6月4日

監事 高橋

